

HU.NEWS
プレスリリース

「負けてられへん！」デジタル世代に挑むシニアたち 大学生が教えるeスポーツ教室で健康もゲットだけ！

阪南大学（所在地：大阪府松原市、学長：平山 弘）総合情報学部 総合情報学科は、地域貢献活動の一環として、高齢者向けeスポーツ教室を開講します。この教室では、学生が講師となり、高齢者の皆さまにデジタル技術を活用した新しい学びと交流の機会を提供します。Eスポーツを通じた健康促進やコミュニケーションを図ることで、地域社会全体の活性化に貢献することを目指しています。

■開催の意義

日本の高齢化社会において、高齢者の健康維持や社会参加の機会を創出することは重要な課題です。本学は、地域との強い連携を大切に、eスポーツを通じて高齢者の方々が新しい形で社会とつながり、地域の一員として積極的に活動できる場を提供しています。

このeスポーツ教室は、地域貢献の一環として、単なる娯楽を超えた取り組みを行っています。ゲームは楽しさを提供するだけでなく、脳の活性化、反射神経の向上、そしてフレイル予防（加齢に伴う心身の虚弱状態を防ぐこと）に大きな効果を持っています。特にフレイル予防においては、適度なゲーム操作が手や目を使う運動を促し、判断力や集中力を高める助けとなります。さらに、オンラインを通じた他者との交流は社会的なつながりを維持する一助となり、精神的な充実感を得ることが期待されます。

この教室を通じて、世代を超えた交流が生まれ、高齢者が自信を持って地域社会に参加する機会を創出します。大学生が講師となることで、若者とのコミュニケーションを深め、地域全体の絆を強めることを目指しています。

■実施概要

日時：2024年11月30日（土）14時～16時

場所：阪南大学本キャンパス1号館3階G-LAB（大阪府松原市天美東5-4-33）

実施予定のゲーム：ぷよぷよ（落ち物パズルゲーム）

備考：ルールや操作方法の説明、練習体験、休憩を取りながら実施します。

初心者も可、年齢上限は設けておりませんので、どなたでもお気軽にお越しください。

■阪南大学のeスポーツの取り組み

本学では総合情報学部を中心に、eスポーツを学びの一環として積極的に推進しています。

eスポーツを単なるゲームとして捉えるのではなく、「ゲームを通じた学び」として、プログラミングや英会話、企画力といったあらゆるスキルの向上を目指して取り組んでいます。

学生主導で開催されるeスポーツ大会は、今年度で3回目を迎え、学生が大会の企画、運営、システム設計に挑戦する実践的な教育の場として成長しています。オンライン観覧を可能にするためのメタバース空間の設計など先進的な技術にも取り組んでいます。

さらに、eスポーツの価値を広く社会に伝えるため、今年度からは親子で楽しめるイベントや高齢者向けのイベントを開催し、世代間交流の促進にも力を入れています。これにより、eスポーツが地域社会のつながりを深める新たなツールとして位置づけられています。

また、ハード面においても国内最大規模のハイスペックPC教室を設置するなど、学生たちが最高の環境でeスポーツに取り組めるよう支援しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

学長室総務企画課：浮田 / koho@hannan-u.ac.jp

電話：072-332-1224（代）